



魚沼市生涯学習センター（仮称） 基本設計市民説明会資料



完成予定：令和 7 年 3 月末
オープン予定：令和 7 年 4 月

◎基本設計がまとまりました

旧小出庁舎の解体後の跡地に、図書館と公民館機能を併せ持つ「生涯学習センター（仮称）」の建設を計画しています。この施設には、小出郷図書館の図書館機能と老朽化が進んでいる小出郷福祉センターの集会室機能を移転する計画としています。

検討に当たっては、図書館、社会教育、商工会等の団体、地元町内会から選出いただいた方々や高校生など合計 30 人の委員から参加いただき、5 月末から 10 月初旬まで合計 5 回、市民参加型のワークショップを開催してきました。そのほか、インターネットを通じてアンケート調査を行ったり、図書館司書や公民館担当からの聞き取りなどを行い、検討を重ねてきました。

この度、基本設計の概要がまとまりましたのでお知らせします。なお、図書館機能移転後の建物（現小出郷図書館）の今後の利活用については、まちのにぎわいづくりの施設として再整備を予定しています。今後、引き続き検討を進めます。





コンセプト



- ・全ての市民が豊かな人生を送るために、生涯学習の環境を整える。
- ・市民が集い、賑わいの拠点となる場を創出する。

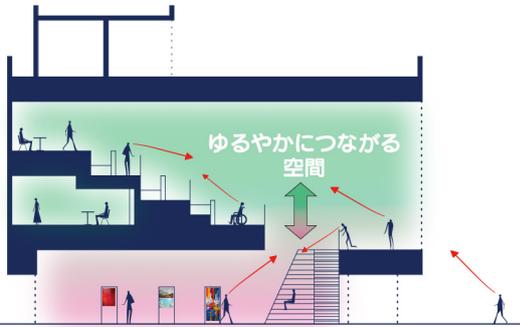
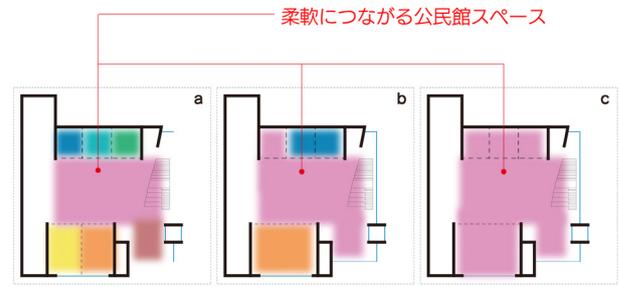
自分なりの居場所を見つけられる図書館

図書館には、『段状書架』を設けます。それは、魚野川の流れや、かつて存在した柳原の石積みイメージしながら計画しました。これにより視認性が良く本を探しやすい多様な表情を持つ図書館となります。利用者一人ひとりにとって居心地の良いそんな図書館を目指しています。



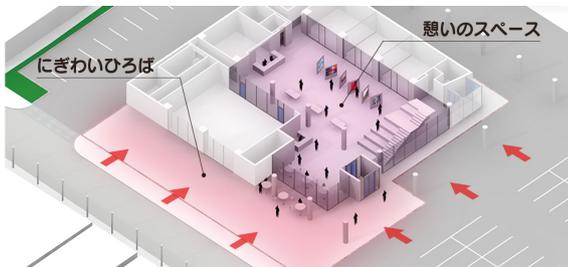
多様な活動が可能な公民館

公民館の研修室や視聴覚室は、それぞれつなげて利用することも可能で、市民の多様な活動を受け止める柔軟な計画となります。



○文化的な相乗効果を生み出す複合施設

公民館と図書館は1階と2～3階で明確に区別して利便性を確保しながらも、吹抜や中二階でゆるやかにつなげて、お互いの利用者が興味を刺激し合い、文化的な相乗効果を生み出せるように計画しています。



○地域のリビングルーム

1階には『憩いのスペース』や『にぎわいひろば』といったフリースペースを設けて、用が無くとも自由に佇める場所を用意します。展示会や各種イベントを開催することも可能で、地域のリビングルームとして、市民に親しまれる空間を計画しています。

○集いの拠点となる配置計画

建物は西側へ配置し、内部での活動が駐車場を介して商店街へ広がるように計画しています。駐車場は、商店街の駐車場としての役割も想定し南本町商店街・本町商店街・浦町商店街へとアクセスしやすい配置にすると共に、商店街と一体的に利用し、屋外イベントを開催することも想定しています。



○雪への対応

雪や雨の日でも濡れずに施設を利用できるように、1階ピロティに駐車場を設けています。また、建物の平面形状は凸凹の無いシンプルな形状とし、除雪しやすい計画としています。





1階平面計画

貸室 3～5

会議や研修・文化活動などに使う部屋で、3室つなげることもでき、市民の多様な活動を柔軟に受け止めます。

貸室 1～2

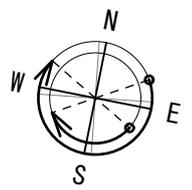
会議やダンスレッスンなど多目的に使うことが可能な部屋で、つなげて使えば100人規模の講習会を行える広さを持っています。

憩いのスペース

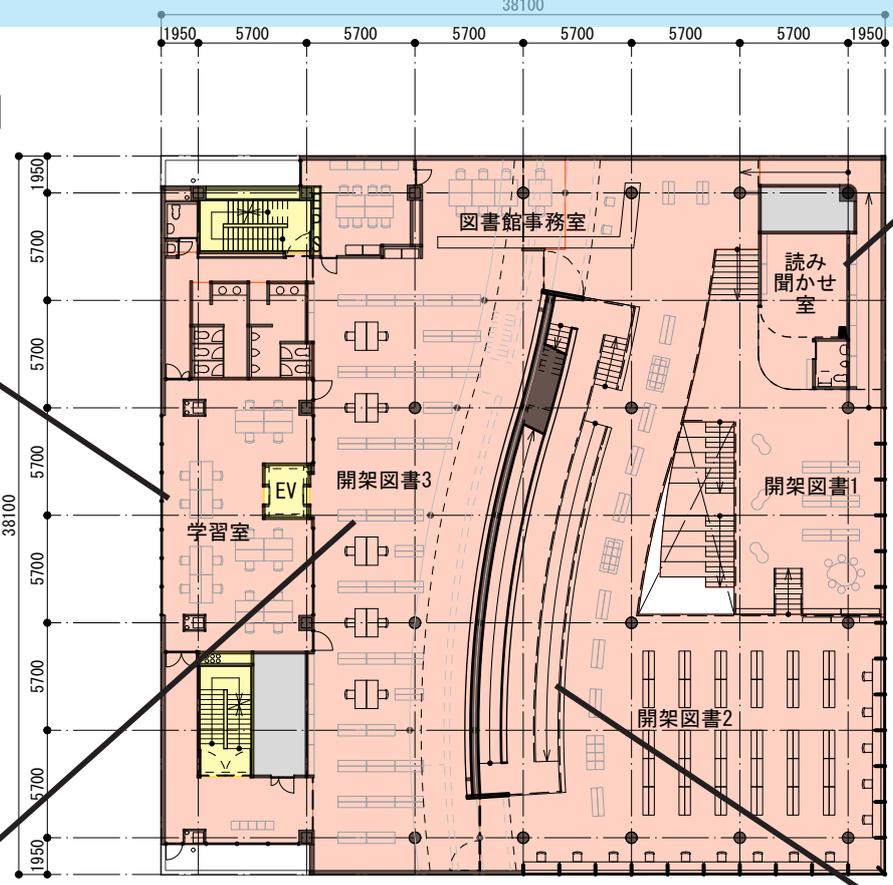
市民が自由につろげる場所であり、時には展示会や各種イベントを行うことも可能な空間です。

大階段

1階と2階をゆるやかにつなぐ大階段は、ベンチとしての役割を持ち、市民が腰をかけてつろげる場所となっています。



2階平面計画



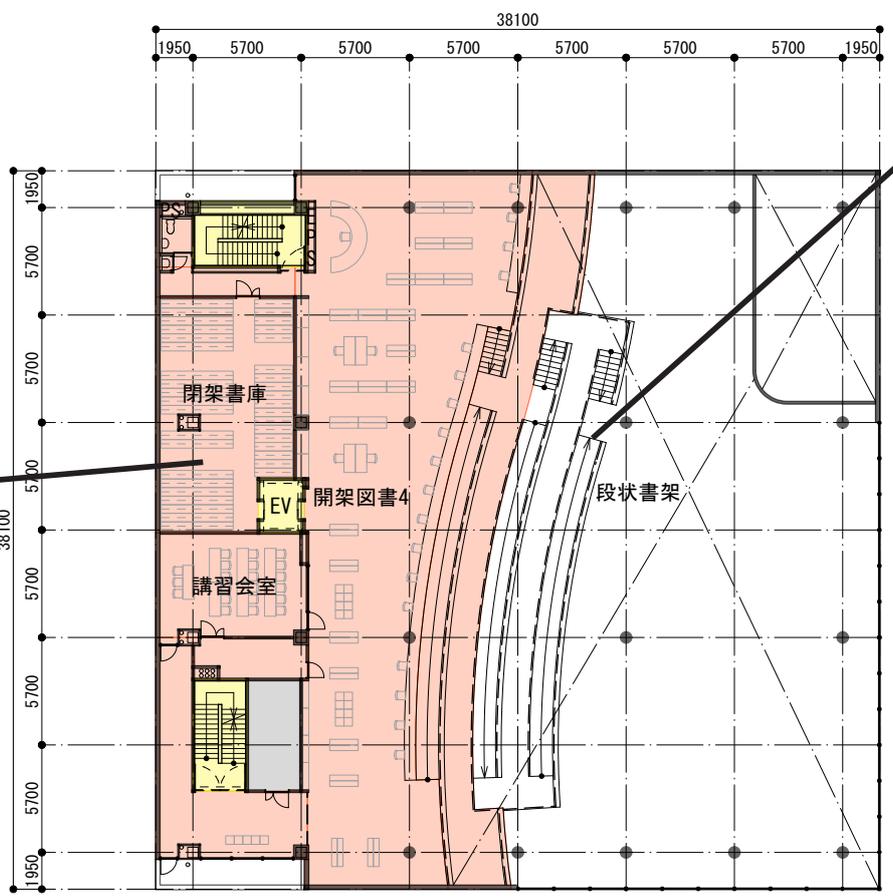
学習室
独立した空間の部屋で、集中して読書や勉強ができる部屋です。

開架図書
段状書架の裏側で、クローズな空間となり、落ち着いた雰囲気の本架となります。

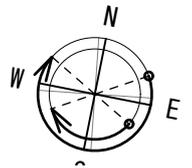
読み聞かせ室
子どもたちが物語の世界へ入り込みやすい、静かで、落ち着きのある部屋をつくれます。近くには子ども用トイレを設けます。

段状書架
魚野川の流れを思わせる曲線と、かつて存在した柳原の石積みモチーフにした書棚で、視認性が良く本を探しやすい書棚となります。

3階平面計画



閉架書架
移動書架により約5万冊の収蔵が可能な書架です。エレベーターで直接搬入することも可能な計画です。



お問合せ先
魚沼市教育委員会事務局生涯学習課
☎793・7480